

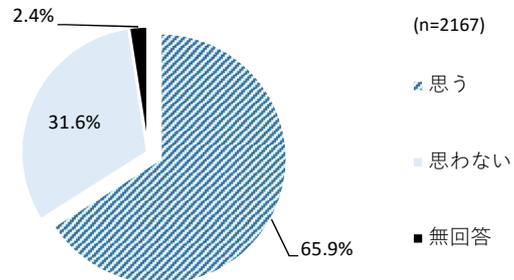
平成28年度愛知県生活習慣関連調査 調査結果概要

調査票 A (対象者：満20歳以上)

意識

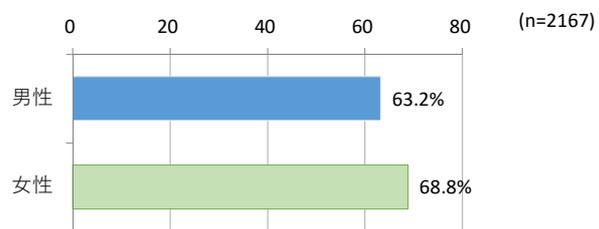
健康な生活習慣を送っていると「思う」と回答した者の割合は、65.9%であった。(図1)
(前回調査(H24):65.7%)

図1：健康な生活習慣を送っていると「思う」者の割合



性別でみると、男性は63.2%であるのに対し、女性の方が68.8%と、女性の方が5.6ポイント高くなっている。(図2)

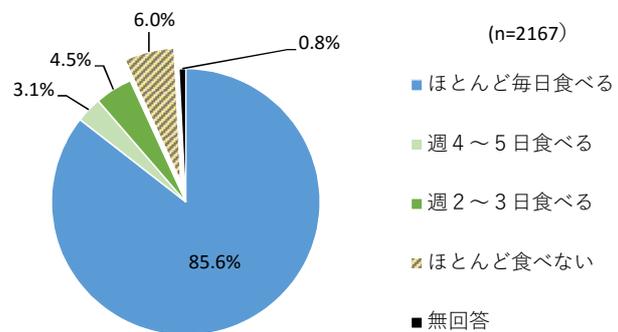
図2：健康な生活習慣を送っていると「思う」者の割合(性別)



食生活

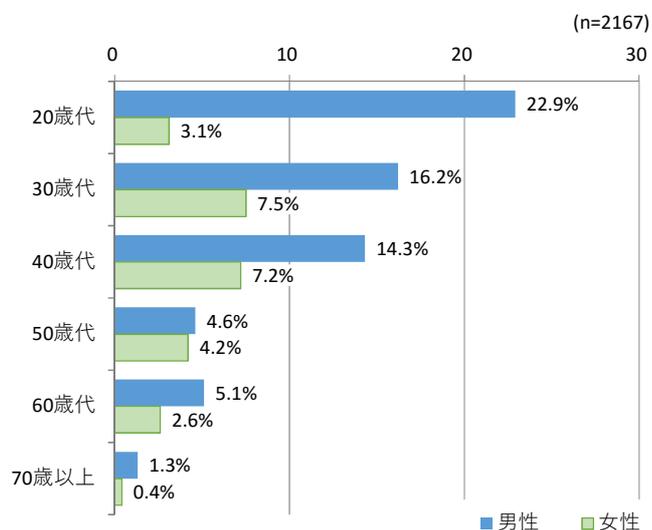
朝食の摂取状況について、全体の6.0%が「ほとんど食べない」と回答している。(図3)
(前回調査(H24):6.7%)

図3：朝食の摂取状況



性年代別でみると、20歳代男性(22.9%)は、朝食を「ほとんど食べない」者の割合が特に高くなっている。(図4)

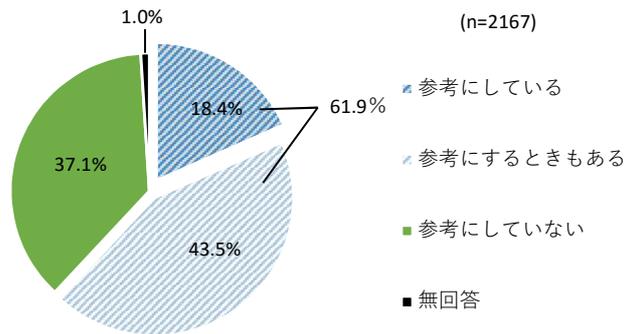
図4：ふだん朝食をほとんど食べない者の割合



栄養

外食や食品を購入するとき、カロリーなどの栄養成分表示を「参考に使っている」と「参考にするときもある」を合わせた「参考にする」者の割合は、61.9%であった。(図5)
 (前回調査(H24):62.7%)

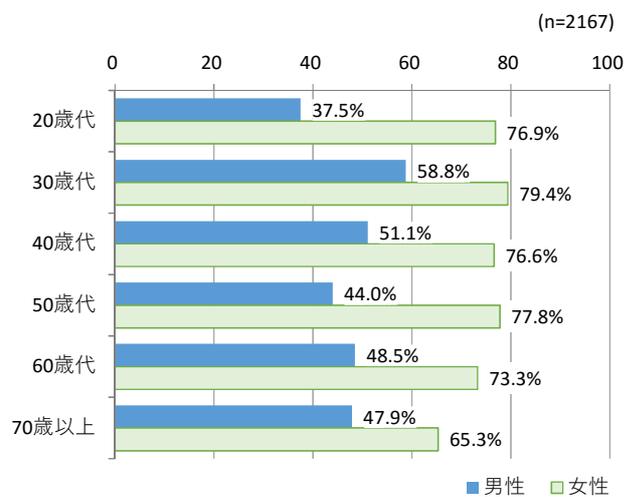
図5：栄養成分表示を参考にする者の割合



性年代別にみると、「参考にする者」の割合は、すべての年代で男性よりも女性の割合が高くなっている。

また、「参考にする」者の割合が最も低かったのは、20歳代男性(37.5%)であるのに対し、最も高かったのは、30歳代女性(79.4%)となっている。

図6：栄養成分表示を参考にする者の割合(性年代別)

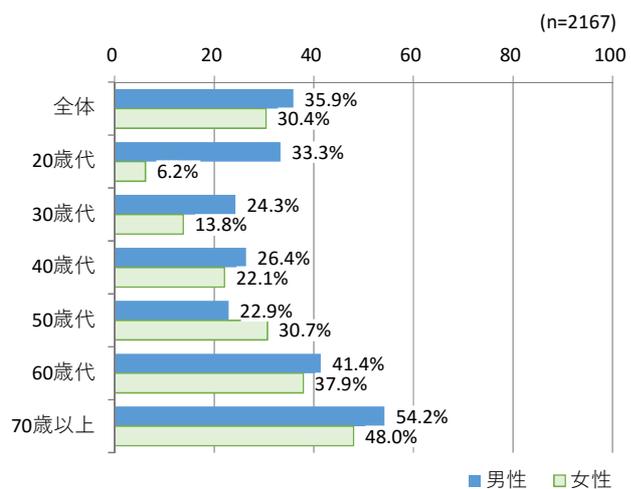


運動

運動習慣者(1回30分以上かつ週2回以上の運動を1年以上実施している者)の割合は、全体で男女ともに約3割となっている。

性年代別でみると、20歳代女性が6.2%、30歳代女性が13.8%と他の性年代別に比較して特に低くなっている。(図7)

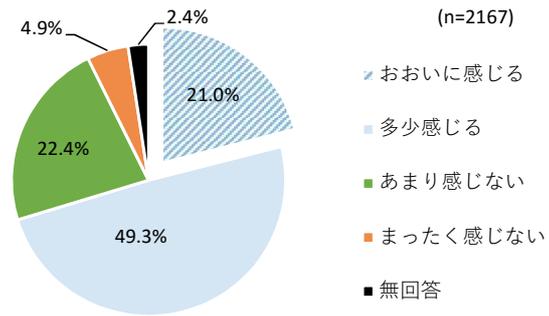
図7：運動習慣者の割合(性年代別)



こころ

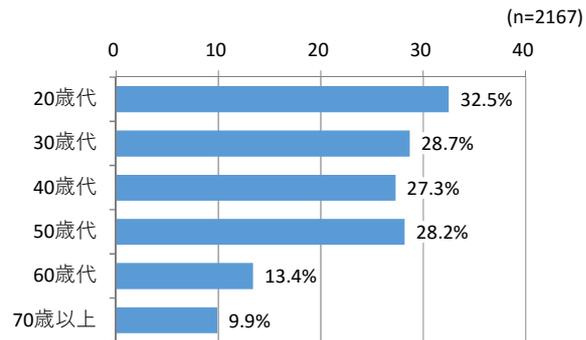
ここ1ヶ月間にストレスを「おおいに感じる」と回答した者の割合は、21.0%であった。(図8)
(前回調査(H24):20.2%)

図8：ストレスを「おおいに感じる」者の割合



年代別でみると、20歳代から50歳代で約3割と、60歳以上の年代に比べ高くなっている。(図9)

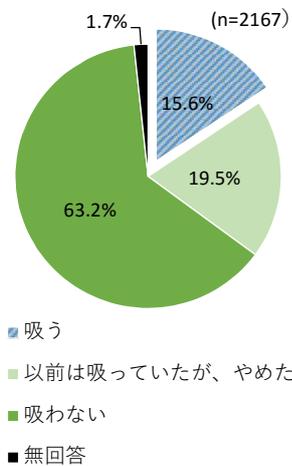
図9：ストレスを「おおいに感じる」者の割合（年代別）



喫煙

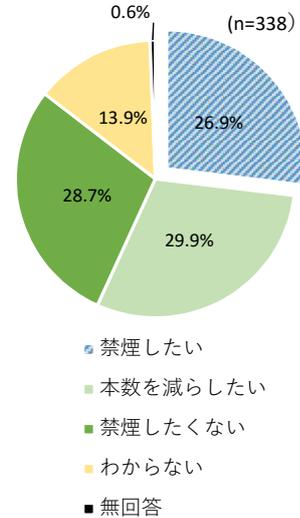
喫煙の状況について、全体の15.6%はたばこを「吸う」と回答している。(図10)
(前回調査(H24):17.0%)

図10：喫煙状況



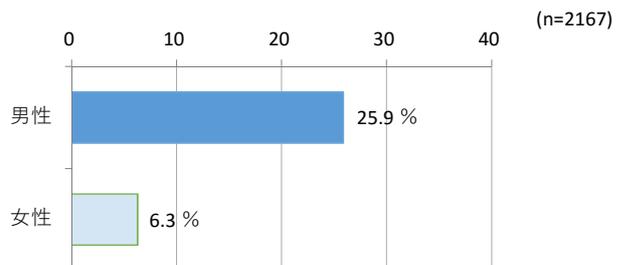
そのうち26.9%の者は、「禁煙したい」と回答している。(図11)
(前回調査(H24):31.6%)

図11：禁煙の意向



性別でみると、男性は25.9%であるのに対し、女性の方が6.3%と、男性の方が19.6ポイント高くなっている。(図12)

図12：たばこを「吸う」者の割合（性別）



飲 酒

飲酒の状況について、毎日飲酒する者の割合は、全体で18.0%となっている。(前回調査(H24):17.6%)

また、月に1回以上と回答した者は、47.8%を占める。(図13-1)

図13-1：飲酒状況

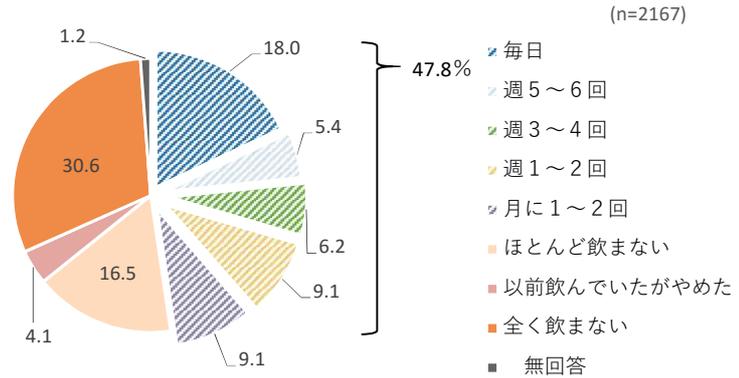


図13-2：月に1回以上飲酒する者の飲酒頻度内訳（性別）

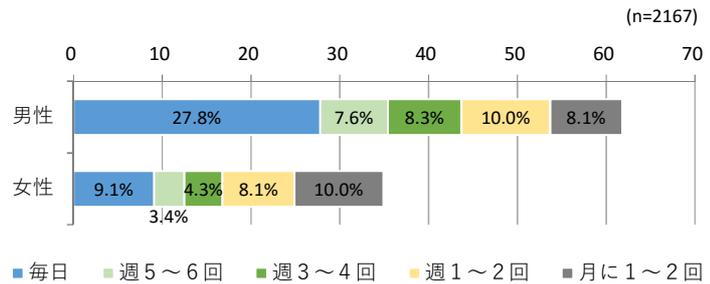


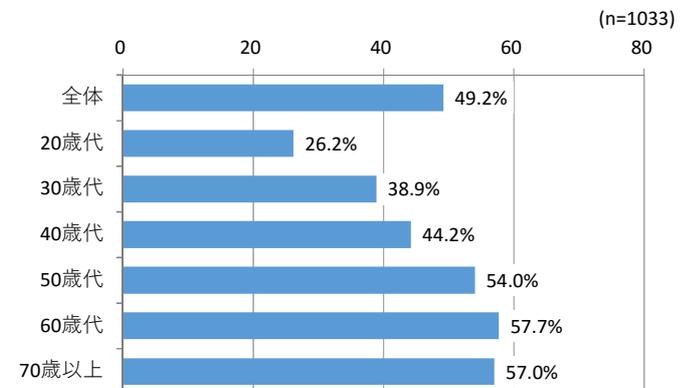
図14：多量飲酒者の割合

月に1回以上飲酒する者のうち、多量飲酒（清酒3合程度以上）をしている者の割合は、12.1%であり、年代別にみると40歳代が20.3%と最も高くなっている。(図14)

図15：節度ある適度な飲酒量の認知度

さらに、「節度ある適度な飲酒量（1日平均ビール中瓶1本程度（純アルコールで約20g））」を知っている者の割合は、49.2%となっている。

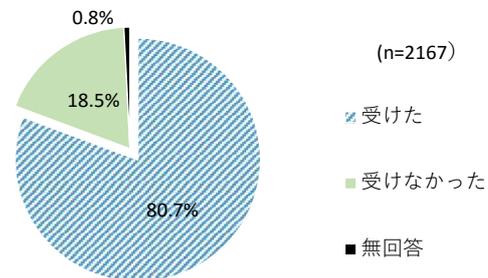
年代別にみると20歳代が26.2%と、他の年代に比べて低く、若い世代ほど知っている者の割合が低くなっている。(図15)



健診

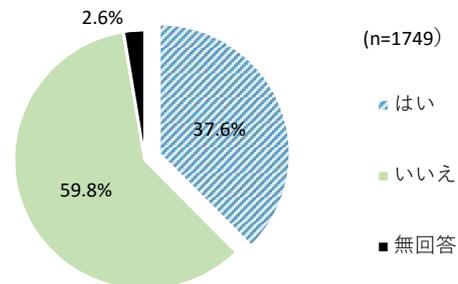
健診（健康診断や健康診査）や人間ドックの受診状況について、過去1年間に受診した者の割合は、80.7%となっている。（図16）
（前回調査(H24):79.7%）

図16：健診や人間ドックの過去1年間の受診状況



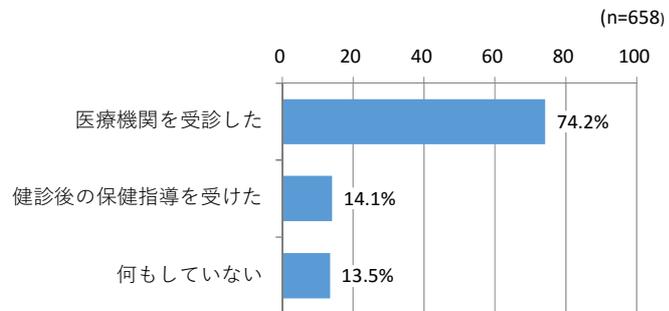
そのうち、健診の結果、肥満、高血圧（血圧が高い）、糖尿病（血糖が高い）、血中の脂質異常（コレステロール・中性脂肪が高い）に関する指摘を受け、最終的に医療機関での治療または保健指導を勧められた者の割合は、37.6%となっている。（図17）

図17：要医療者・要指導者の割合



その中で、医療機関を受診したり、保健指導を受けたりせず、「何もしていない」と回答した者の割合は、13.5%となっている。（図18）

図18：要医療者・要指導者のその後の状況



調査票B（対象者：満16歳から満19歳まで）

喫煙

対象者の喫煙状況について、3.2%は喫煙経験が「ある」と回答している。
 (図19-1)
 (前回調査(H24):6.5%)

図19-1：喫煙経験

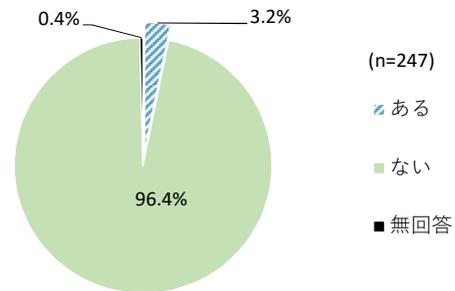
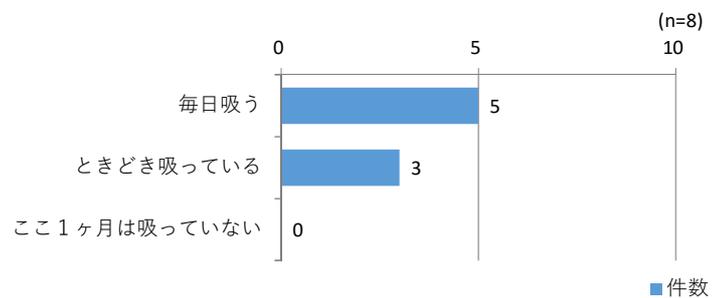


図19-2：喫煙頻度



飲酒

対象者の飲酒状況について、19.8%は飲酒経験が「ある」と回答している。
 (図20-1)
 (前回調査(H24):24.5%)

図20-1：飲酒経験

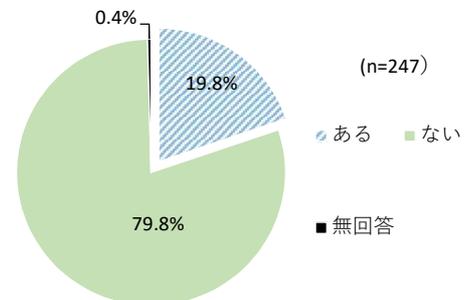


図20-2：飲酒頻度

